

11日(土)に準決勝 全日本大学野球

第71回全日本大学野球選手権に6年ぶりに出場している母校は、2試合をいずれも後半の勝負所で得点するなど勝ち、11日(土)の準決勝に進みました。

初戦となった2回戦の対近畿大学戦では、投手戦となって終盤まで両チーム無得点。

そして迎えた9回、2死1、2塁の場面で代打・松浦隆己外野手(経済3年・神戸国際大付属高卒)が初球をたたくとレフトへのタイムリー2塁打となって先制、その裏に1点を奪われるものの、そのままゲームセットとなり、2対1で勝利しました。

続く準々決勝(9日)は名城大学(愛知)と。この試合も終盤での攻防で試合が決まりました。

1対2で迎えた6回、山下滉介選手(経営4年・岡山理大付属高卒)の本塁打などで2点をとって逆転すると、7回には藤江亮太選手(経営4年・享栄高卒)のタイムリーで1点を、8回には1点差に迫られたあと、田中幹也選手(経営4年・東海大菅生高卒)のタイムリー2塁打やダブルスチールなどで2点を奪って6対3で勝利しました。

この結果、**11日(土)の午後2時30分開始予定の第2試合で東日本国際大学(福島県いわき市、南東北リーグで2季連続34度の優勝)と神宮球場で対戦します。**